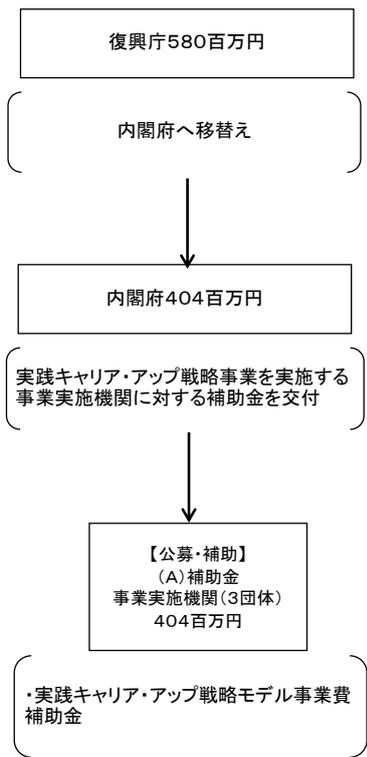


平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	実践キャリア・アップ戦略の実施に必要な経費		担当部局	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	大野 秀敏	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」 (平成22年9月10日 閣議決定) 「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」 (平成22年10月8日 閣議決定) 「日本再生の基本戦略」(平成23年12月24日閣議決定) 「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	実践キャリア・アップ戦略を推進し、実践的な職業能力の評価・認定制度(キャリア段位制度)を構築することによって、成長分野における人材育成・労働移動を推進するとともに、被災地で先行的・重点的に事業を実施することによって、復興に資する人材の育成や産業の振興に資することを目的とする。対象業種として、「介護プロフェッショナル」「カーボンマネジャー」「食の6次産業化プロデューサー」を選定し、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価し、7段階のレベルの認定を行うこととしている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	実践キャリア・アップ戦略は、実践的な職業能力の評価・認定制度(キャリア段位制度)を構築するとともに、それに基づく育成プログラムの整備や労働移動の円滑な仕組みづくりを含めた全体を一体的・総合的に整備・推進していく戦略。介護、省エネ・温室効果ガス削減等、6次産業化の3分野について、実践的な職業能力の評価基準等を策定するとともに、事業実施機関を公募・選定し、平成24年秋から、被災3県において、評価者(アセッサー)への講習、育成プログラムの認証、レベル認定等の事業を開始した。 ※実践キャリア・アップ戦略補助金については、手数料収入分を補助金額から減額。 (参考)実践キャリア・アップ戦略 http://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-	580	-	-		
		補正予算	括弧内は内閣府が計上した同様の事業(内閣府0029実践キャリア・アップ戦略の実施に必要な経費)(平成24年行政事業レビューシートの予算額を参考記載しているもの)	38	-	-		
		繰越し等	-	-	-			
	計	38	580	-	-			
	執行額	26	404					
執行率(%)	68.4%		69.7%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	レベル認定事業実施体制の整備及び制度の立ち上げ	成果実績	分野	-	-	3分野	3分野	
		達成度	%	-	-	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	レベル認定事業実施機関の公募・選定 レベル認定事業実施体制の立ち上げに向けた、事業実施体制の整備	活動実績	分野	-	-	3分野	3分野	
		(当初見込み)		(-)	(-)	(3分野)	(3分野)	
単位当たりコスト	レベル認定事業の実施に要した経費 (135百万円/分野)		算出根拠	単位当たりのコスト=レベル認定事業の実施に要した経費の総額/レベル認定事業を実施した分野数(404百万円/3分野)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費 必要性 投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	実践キャリア・アップ戦略は、成長分野における人材育成・労働移動の促進を目的としている。制度の整備・普及等に相当の経費と時間を要するため、制度の立ち上げ期間においては、民間だけで実施することは困難であることから、国による支援が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業実施機関については、3分野ごとに公募し、外部有識者等で構成される選定評価委員会で審査・選定を行った上で、決定した。事業実施機関に対しては、補助金交付要綱に基づき、被災3県におけるアセッサー講習の開催経費、レベル認定・プログラム認証等に係る経費等の事業費及びシステム設計・開発・維持費といった事業実施のために必要な経費の補助を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	当初見込みどおり、3分野ごとにレベル認定事業実施体制を整備し、被災3県において制度を開始することができた。また、平成25年度以降も、3分野で整備した制度・システムを活用しながら、レベル認定事業を実施していくこととしている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点 検 結果	実践キャリア・アップ戦略は、実践的な職業能力の評価・認定制度(キャリア段位制度)の構築によって、成長分野における人材育成・労働移動の推進を図るとともに、被災地で先行的・重点的に実施することによって、復興に資する人材の育成や産業の振興に資することを目的とした施策である。当初見込みどおり、平成24年度から被災3県において制度を開始したところであり、平成25年度以降、整備した制度・システムを活用して施策を展開していくことにより、政策目的の達成を目指すことが必要。制度の整備・普及等に相当の経費と時間を要するため、制度の立ち上げ期間においては、民間だけで実施することは困難であることから、引き続き国による支援を行っていく。なお、平成25年度以降は、制度の普及を促進していくため、被災地において先行的・重点的に実施しつつ、他の地域でも事業の展開を図っていくことが必要であり、一般会計予算によって支援を行っていくことが妥当である。事業の効果的・効率的な実施を図るため、事業の実施状況を把握・検証し、年度ごとに、選定評価委員会の審査を踏まえて補助事業者を決定していくとともに、事業の独立採算に向けた検討等を進める。			
外部有識者の所見				
-				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-				
事業の目的については、平成24年度予算において達成しており、平成25年度以降は予算計上をしていない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
事業の目的については、平成24年度予算において達成しており、平成25年度以降は予算計上をしていない。				
備考				
<p>(平成24年度公開プロセス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業番号0028、0029 実践キャリアアップ戦略の推進に必要な経費 ○評価結果一廃止 ○取りまとめコメント一本事業については、既存の資格制度との関係の明確化、事業効果、効果設定を行う必要があるとの御意見があったことから、抜本的に再検討を行う。 ○平成25年度予算における反映状況 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料収入分を補助金額から減額することとし、補助金額を4割以上削減。 ・現在の3分野(介護プロフェッショナル、カーボンマネジャー、食の6次産業化プロデューサー)に限定し、当面、3分野以外の分野への拡大は行わない。 ・当面、被災地において重点的に実施。 ・公開プロセスにおいて指摘のあった点を踏まえ、各分野ごとに以下を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①既存の資格との違いを明確化するとともに、既存の資格取得者に対する講習の免除等について検討 ②レベル認定者数の目標を定量的に設定 				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年		
			平成24年	
			4	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	食農共創プロデューサーズ	実践キャリア・アップ戦略モデル事業費補助金(食の6次産業化プロデューサー)	144	-	-
2	一般社団法人シルバーサービス振興会	実践キャリア・アップ戦略モデル事業費補助金(介護プロフェッショナル)	139	-	-
3	一般社団法人産業環境管理協会	実践キャリア・アップ戦略モデル事業費補助金(カーボンマネジャー)	121	-	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					